



平成 23 年 7 月 5 日

各 位

会 社 名：株式会社 fonfun  
代表者名：代表取締役社長 林 和 之  
(JASDAQ コード番号：2323)  
問合せ先：取締役執行役員経営管理部長 八田 修三  
(TEL：03-5357-0303)

### 訂正有価証券報告書等の提出及び過年度決算短信の一部訂正に関するお知らせ

当社は、下記の訂正報告書及び訂正届出書を本日付で関東財務局へ提出いたしましたので、お知らせいたします。

また、同様に過年度決算短信につきましても併せて訂正し開示しております。

なお、連結財務諸表並びに個別財務諸表の主要項目の訂正後の数値及び影響額につきましては別紙のとおりであります。

### 記

#### 1. 訂正の理由

当社は、平成 22 年 12 月 8 日付「第三者調査委員会の設置に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、当社において有価証券報告書等の訂正の対象となり得る不適切な取引等が存在することが判明し、第三者調査委員会を設置し、調査を行ってまいりましたが、平成 23 年 3 月 1 日付「第三者調査委員会の調査結果に関するお知らせ」にて公表いたしました第三者調査委員会の調査結果を受け、過年度の財務諸表等の決算訂正を行うこととなりました。

当該不適切な取引において、その対象とされている当社前取締役名義の当社株式の一部について、実質所有者を調査してまいりましたが、当社として知りうる事項を調査した範囲では、従来の有価証券報告書等に記載しておりました大株主の状況を変動させるに足る実質所有に関わる事実がなかったことを確認いたしました。したがって、過年度決算の訂正内容が確定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 2. 本日提出した訂正報告書、訂正届出書等

- (1) 第 13 期 第 1 四半期報告書の訂正報告書
- (2) 第 13 期 第 2 四半期報告書の訂正報告書
- (3) 第 13 期 第 3 四半期報告書の訂正報告書
- (4) 第 13 期 有価証券報告書の訂正報告書
- (5) 第 13 期 内部統制報告書の訂正報告書
- (6) 第 14 期 第 1 四半期報告書の訂正報告書
- (7) 第 14 期 第 2 四半期報告書の訂正報告書
- (8) 第 14 期 第 3 四半期報告書の訂正報告書
- (9) 第 14 期 有価証券報告書の訂正報告書
- (10) 第 14 期 内部統制報告書の訂正報告書
- (11) 第 15 期 第 1 四半期報告書の訂正報告書
- (12) 第 15 期 第 2 四半期報告書の訂正報告書
- (13) 第 15 期 第 3 四半期報告書の訂正報告書

- (14) 第 15 期 有価証券報告書の訂正報告書
- (15) 有価証券届出書の訂正届出書〈組込方式〉(平成 21 年 10 月 30 日提出)

3. 本日開示した訂正に関する決算短信等

- (1) 平成 21 年 3 月期 第 1 四半期 決算短信 (連結)
- (2) 平成 21 年 3 月期 第 2 四半期 決算短信 (連結)
- (3) 平成 21 年 3 月期 第 3 四半期 決算短信 (連結)
- (4) 平成 21 年 3 月期 決算短信 (非連結)
- (5) 平成 22 年 3 月期 第 1 四半期 決算短信 (非連結)
- (6) 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期 決算短信 (非連結)
- (7) 平成 22 年 3 月期 第 3 四半期 決算短信 (連結)
- (8) 平成 22 年 3 月期 決算短信 (連結)
- (9) 平成 23 年 3 月期 第 1 四半期 決算短信[日本基準] (連結)
- (10) 平成 23 年 3 月期 第 2 四半期 決算短信[日本基準] (連結)
- (11) 平成 23 年 3 月期 第 3 四半期 決算短信[日本基準] (連結)
- (12) 平成 23 年 3 月期 決算短信[日本基準] (連結)

4. 訂正による過年度業績への影響

別紙のとおりであります。

株主、投資家及び関係者の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

以上

## 訂正による過年度業績への影響

## 1. 平成21年3月期

## (1) 影響額

(単位：百万円)

期	項目	連 結			個 別		
		訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)	訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)
平成21年3月期 第1四半期 決算短信	売上高	688	688	—			
	営業利益	△117	△117	—			
	経常利益	△120	△120	—			
	当期純利益	△123	△264	△140			
	総資産	2,740	2,599	△140			
	純資産	2,076	1,935	△140			
平成21年3月期 第2四半期 決算短信	売上高	1,368	1,368	—			
	営業利益	△190	△190	—			
	経常利益	△187	△187	—			
	当期純利益	△568	△797	△229			
	総資産	2,387	2,159	△229			
	純資産	1,629	1,399	△229			
平成21年3月期 第3四半期 決算短信	売上高	2,036	2,036	—			
	営業利益	△266	△266	—			
	経常利益	△266	△266	—			
	当期純利益	△667	△1,100	△432			
	総資産	2,326	2,100	△226			
	純資産	1,501	1,069	△432			
平成21年3月期 決算短信	売上高	2,395	2,395	—	2,078	2,078	—
	営業利益	△356	△351	4	△194	△189	4
	経常利益	△372	△367	4	△170	△165	4
	当期純利益	△1,680	△2,129	△449	△1,703	△2,184	△480
	総資産				1,238	972	△266
	純資産				613	132	△480

(注) 平成21年3月期連結会計年度末において、連結子会社がすべてなくなったことから、同期会計年度末においては、連結貸借対照表を作成しておりません。

## (2) 主な訂正事項

## ・ 平成21年3月期第1四半期(連結)

- 1) 前渡金4,200万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 前渡金6,720万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 3) 長期貸付金3,150万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。

・ 平成 21 年 3 月期第 2 四半期(連結)

- 1) 当初、投資有価証券として計上していた 4,500 万円のうち、3,150 万円を長期未収入金として訂正、また、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 前渡金 6,720 万円の無形固定資産への資産計上の取り消し。
- 3) 前渡金 4,357 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。

・ 平成 21 年 3 月期第 3 四半期(連結)

- 1) 債務保証引当金 2 億円を、不正損失に計上。
- 2) 債務保証引当金 326 万円を、不正損失に計上

・ 平成 21 年 3 月期 通期(連結)

- 1) 無形固定資産 8,000 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 無形固定資産 8,100 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 3) 債務保証引当金 624 万円を、不正損失に計上。
- 4) 前渡金 4,200 万円の有形固定資産への資産計上の取り消し。
- 5) 無形固定資産減価償却費 156 万円を取り消し。
- 6) 有形固定資産減価償却費 333 万円を取り消し。

・ 平成 21 年 3 月期 通期(個別)

- 1) 前渡金 4,200 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 前渡金 6,720 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 3) 前渡金 4,357 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 4) 前渡金 6,720 万円の無形固定資産への資産計上の取り消し。
- 5) 前渡金 4,200 万円の有形固定資産への資産計上の取り消し。
- 6) 長期貸付金 3,150 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 7) 当初、投資有価証券として計上していた 4,500 万円のうち、3,150 万円を長期未収入金として訂正、また、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 8) 債務保証引当金 2 億円を、不正損失に計上。
- 9) 債務保証引当金 326 万円を、不正損失に計上。
- 10) 債務保証引当金 624 万円を、不正損失に計上。
- 11) 無形固定資産 8,000 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 12) 無形固定資産 8,100 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 13) 無形固定資産減価償却費 156 万円を取り消し。
- 14) 有形固定資産減価償却費 333 万円を取り消し。

2. 平成 22 年 3 月期

(1) 影響額

(単位：百万円)

期	項目	連 結			個 別		
		訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)	訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)
平成 22 年 3 月期 第 1 四半期 決算短信	売上高				267	267	—
	営業利益				9	23	13
	経常利益				6	19	13
	当期純利益				12	18	5
	総資産				1,256	788	△467
	純資産				630	155	△474
平成 22 年 3 月期 第 2 四半期 決算短信	売上高				555	555	—
	営業利益				19	46	26
	経常利益				12	39	26
	当期純利益				23	37	13
	総資産				1,244	783	△461
	純資産				640	173	△467
平成 22 年 3 月期 第 3 四半期 決算短信	売上高	813	813	—			
	営業利益	24	62	38			
	経常利益	△0	38	38			
	当期純利益	△19	7	26			
	総資産	1,278	830	△447			
	純資産	727	274	△453			
平成 22 年 3 月期 決算短信	売上高	1,107	1,107	—	1,013	1,013	—
	営業利益	68	122	53	43	97	53
	経常利益	42	94	52	38	90	52
	当期純利益	13	45	31	8	39	31
	総資産	1,318	877	△440	1,226	785	△440
	純資産	766	316	△449	728	278	△449

(注) 平成 22 年 3 月期第 3 四半期より、株式会社 FunFusion を連結子会社化したことから、連結財務諸表を作成しております。

(2) 主な訂正事項

・ 平成 22 年 3 月期第 1 四半期(個別)

- 1) 長期貸付金 20,950 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。
- 2) 債務保証引当金 159 万円を、不正損失に計上。
- 3) 広告宣伝費 600 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 4) 無形固定資産減価償却費 319 万円を取り消し。
- 5) 有形固定資産減価償却費 458 万円を取り消し。

・ 平成 22 年 3 月期第 2 四半期(個別)

- 1) 長期貸付金 160 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。
- 2) 広告宣伝費 600 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 3) 無形固定資産減価償却費 319 万円を取り消し。
- 4) 有形固定資産減価償却費 458 万円を取り消し。

・ 平成 22 年 3 月期第 3 四半期(連結)

- 1) 広告宣伝費 400 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 無形固定資産減価償却費 319 万円を取り消し。
- 3) 有形固定資産減価償却費 458 万円を取り消し。

・ 平成 22 年 3 月期 通期(連結)

- 1) 無形固定資産 4,530 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 広告宣伝費 800 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 3) 無形固定資産減価償却費 320 万円を取り消し。
- 4) 有形固定資産減価償却費 458 万円を取り消し。

・ 平成 22 年 3 月期 通期(個別)

- 1) 広告宣伝費 400 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 無形固定資産 4,530 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 3) 広告宣伝費 800 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 4) 無形固定資産減価償却費 319 万円を取り消し。
- 5) 無形固定資産減価償却費 320 万円を取り消し。
- 6) 有形固定資産減価償却費 458 万円を取り消し。
- 7) 有形固定資産減価償却費 458 万円を取り消し。

### 3. 平成 23 年 3 月期

#### (1) 影響額

(単位：百万円)

期	項目	連 結			個 別		
		訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)	訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B-A)
平成 23 年 3 月期 第 1 四半期 決算短信	売上高	257	257	—			
	営業利益	12	26	13			
	経常利益	10	24	13			
	当期純利益	8	16	7			
	総資産	1,364	931	△432			
	純資産	775	333	△441			
平成 23 年 3 月期 第 2 四半期 決算短信	売上高	530	530	—			
	営業利益	22	52	30			
	経常利益	24	53	29			
	当期純利益	23	41	17			
	総資産	1,343	920	△422			
	純資産	791	359	△431			
平成 23 年 3 月期 第 3 四半期 決算短信	売上高	—	—	—			
	営業利益	—	—	—			
	経常利益	—	—	—			
	当期純利益	—	—	—			
	総資産	901	901	—			
	純資産	176	176	—			
平成 23 年 3 月期 決算短信	売上高	—	—	—	—	—	—
	営業利益	—	—	—	—	—	—
	経常利益	—	—	—	—	—	—
	当期純利益	—	—	—	—	—	—
	総資産	—	—	—	—	—	—
	純資産	—	—	—	—	—	—

#### (2) 主な訂正事項

##### ・平成 23 年 3 月期第 1 四半期(連結)

- 1) 広告宣伝費 600 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 無形固定資産減価償却費 575 万円を取り消し。
- 3) 有形固定資産減価償却費 229 万円を取り消し。

##### ・平成 23 年 3 月期第 2 四半期(連結)

- 1) 広告宣伝費 600 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。
- 2) 無形固定資産減価償却費 873 万円を取り消し。
- 3) 有形固定資産減価償却費 229 万円を取り消し。

・平成 23 年 3 月期第 3 四半期

- 1) 広告宣伝費 200 万円を長期未収入金へ振替、同額の貸倒引当金を設定。貸倒引当金繰入額は、不正損失に振替計上。

(注) 長期未収入金は、794 百万円から 1,421 百万円、貸倒引当金は、769 百万円から 1,396 百万円と訂正されておりますが、相殺されるため総資産及び純資産に影響はありません。

以上